



平成 26 年 12 月 11 日

各 位

会社名 株式会社 オハラ
代表者名 代表取締役社長 齋藤 弘和
(コード番号 5218 東証第1部)
問合せ先 常務取締役 中島 隆
(T E L 042 (772) 2101 (代表))

平成 26 年 10 月期業績予想と実績の差異及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成 26 年 9 月 11 日に公表した平成 26 年 10 月期の通期業績予想と本日公表の同実績に差異が生じたので、お知らせいたします。また、平成 26 年 10 月期末の配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 10 月期通期連結業績予想と実績値の差異

(1) 差異の内容

(平成 25 年 11 月 1 日～平成 26 年 10 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 24,900	百万円 350	百万円 700	百万円 310	円銭 12.74
実績 (B)	24,797	△110	494	17	0.71
増減 (B - A)	△102	△460	△205	△292	—
増減率 (%)	△0.4	—	△29.3	△94.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 10 月期)	26,103	△674	765	△4,005	△164.65

(2) 差異の理由

売上高については、光事業において、デジタルカメラ市場の縮小に伴い、主力製品である光学機器用レンズ材の需要が低調に推移したこと等から、前回予想を下回りました。

損益面については、光事業において、今後の生産量を維持・拡大するため、一部で販売単価の改定を行い、また、期末在庫に対して棚卸評価減を行いました。エレクトロニクス事業においては、石英ガラスは生産量が増加したものの、製品歩留りの改善が遅れました。

これらにより、営業利益は前回予想を下回る見通しとなり、営業外収益において為替差益等を計上したものの、経常利益及び当期純利益も前回予想を下回りました。

2. 平成 26 年 10 月期末配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成 25 年 12 月 12 日発表)				未定	未定
今回修正予想				10.00	10.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成 25 年 10 月期)	—	0.00	—	10.00	10.00

(2) 修正の理由

当社は、株主各位に対する安定かつ継続的な利益還元を配当政策の基本方針としております。期末配当予想につきましては、これまで未定としておりましたが、上記の当期業績を踏まえ、誠に遺憾ながら、1 株当たり 10 円に修正いたします。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上